

令和元年第3回定例会（9月議会）

農林水産委員会提出資料

（所管事項関係）

令和元年9月18日

農 林 水 産 部

目 次

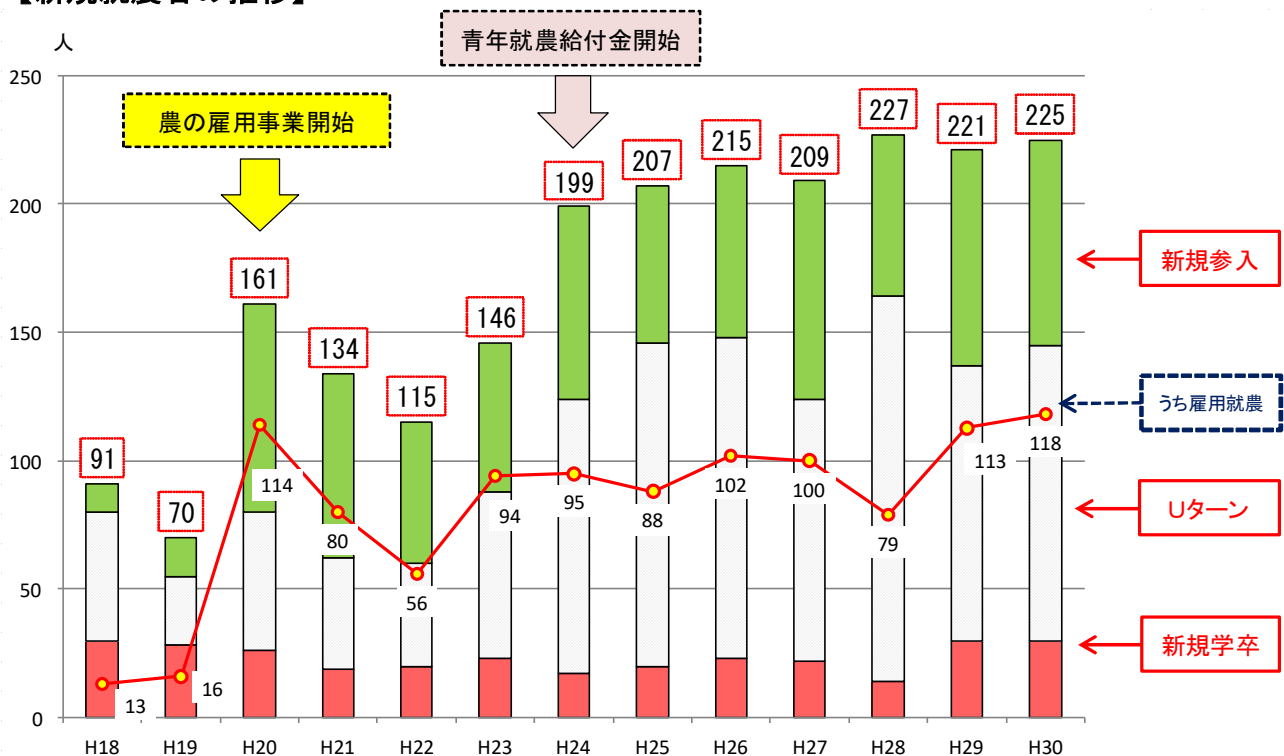
1	平成30年度新規就農者の確保状況について [農林政策課] -----	1
2	県産農畜産物のPR活動について [農業経済課販売戦略室・水田総合利用課・園芸振興課・畜産振興課] -----	3
3	海岸保全施設の個別施設計画（案）について [水産漁港課] -----	6
4	天皇陛下御即位記念第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会の 開催状況について [水産漁港課全国豊かな海づくり大会推進室] -----	9
5	東京オリンピック・パラリンピック関連施設における 県産材の供給状況について [林業木材産業課] -----	11

1 平成30年度新規就農者の確保状況について

農林政策課

- 1 平成30年度における新規就農者数は225人で、前年度に比べ4人増加し、6年連続で200人を超えた。
- 2 就農区分別では、新規学卒者30人、Uターン就農者115人、新規参入者80人となっており、その比率は昨年度と同様である（新規学卒：Uターン：新規参入=1：5：4）。
また、雇用就農は、農業法人等での経営規模の拡大などを背景に、前年度に比べ5人増加し、農の雇用事業が始まった平成20年度以降最大の118人となった。
- 3 園芸メガ団地における新規就農者は21人となり、事業開始の平成26年度から30年度までの5年間で70人（うち雇用就農53人）が就農し、特に、ここ2年間は、新規就農者数の1割を占めている。
- 4 引き続き、就農相談や実践研修等の就農前対策から、技術指導や機械導入支援等の就農後対策に至るまで、総合的にサポートするとともに、農業法人でのインターンシップの実施などにより、移住者を含めた雇用就農の拡大を図っていく。

【新規就農者の推移】



- 新規参入：非農家出身者で新たに就農、又は、非農家出身者で県等が行う農業研修修了後に就農した者
- Uターン：農家出身者で他産業から就農、又は、他産業を離職後に県等が行う農業研修修了後に就農した者
- 新規学卒：農家出身者で学校を卒業し直ちに就農、又は、学卒後に県等が行う農業研修修了後に就農した者
- 雇用就農：農業法人等に常雇いされ新規就農した者

【就農区分別の推移】

単位：人，％

年度	新規学卒		Ｕターン		新規参入		合計		園芸メガ団地の新規就農者	
		うち 雇用就農		うち 雇用就農		うち 雇用就農		うち 雇用就農		うち 雇用就農
平成21年	19 (14%)	6	43 (32%)	10	72 (54%)	64	134 (100%)	80		
平成22年	20 (17%)	1	40 (35%)	5	55 (48%)	50	115 (100%)	56		
平成23年	23 (16%)	14	65 (45%)	26	58 (40%)	54	146 (100%)	94		
平成24年	17 (9%)	2	107 (54%)	30	75 (38%)	63	199 (100%)	95		
平成25年	20 (10%)	4	126 (61%)	38	61 (29%)	46	207 (100%)	88		
平成26年	23 (11%)	8	125 (58%)	34	67 (31%)	60	215 (100%)	102	1	1
平成27年	22 (11%)	9	102 (49%)	23	85 (41%)	68	209 (100%)	100	10	3
平成28年	14 (6%)	3	150 (66%)	32	63 (28%)	44	227 (100%)	79	14	9
平成29年	30 (14%)	10	107 (48%)	35	84 (38%)	68	221 (100%)	113	24	22
平成30年	30 (13%)	13	115 (51%)	45	80 (36%)	60	225 (100%)	118	21	18
増減 H30-H29	0	3	8	10	-4	-8	4	5	-3	-4
過去10年平均	22 (11%)		98 (52%)		70 (37%)		190 (100%)			

県農林水産部農林政策課調べ。()は、合計に占める割合。

2 県産農畜産物のPR活動について

農業経済課販売戦略室
水田 総合利用課
園芸振興課
畜産振興課

1 大手生協と連携した関西圏での県産青果物のPR（えだまめ、すいか、かぼちゃ等）

〔8月23日～25日・コープこうべ（兵庫県）〕

- ・ 関西圏における県産青果物の認知度向上と販路拡大を図るため、丸果秋田県青果の産直パートナーであるコープこうべと連携し、約100店舗で秋田フェアを開催した。



〔旗艦店での秋田フェアの様子〕



〔なまはげが県産青果物をPR〕

2 食の祭典「FOOD SONIC 2019 in 秋田」での県産えだまめのPR

〔8月10～11日・エリアなかいち（秋田市）〕

- ・ グルメサイト「食べログ」で高評価を得ている県外の飲食店が集うイベントにおいて、県産えだまめの試食・販売とレンジパック商品のPRを実施した。



〔県産えだまめPRブース〕



〔レンジパックえだまめ商品〕

3 ブラウブリッツ秋田ホームゲームでの「比内地鶏弾力」冠マッチの開催

〔8月11日・ソユースタジアム（秋田市）〕

- ・ ブラウブリッツ秋田のホームゲームの冠名称に「比内地鶏弾力」を用いるとともに、大型映像装置を活用して比内地鶏のストロングポイントのPRを実施した。
- ・ スタジアム周辺において、選手とともに比内地鶏の丸焼きの試食提供や、串焼きのPR販売を実施した。



〔ブラウブリッツ秋田の選手とPR〕



〔大型映像装置を利用したPR〕

4 台湾・タイでの秋田牛トップセールスを実施

〔8月24日・美福スーパー（台北市）、26日・シンハーコンプレックス（バンコク市）〕

- ・ 秋田牛の知名度向上と販路拡大を図るため、知事によるトップセールスとして、台北市内の高級スーパーでの試食販売フェアと、バンコク市内の商業施設でのPRイベントを開催した。
- ・ タイ王国パラリンピック委員会のピロバクティ会長に「秋田牛アンバサダー」の委嘱状を交付し、秋田牛ファンの獲得と販売拡大を依頼した。



〔台北市内高級スーパーでの試食の様子〕



〔タイパラリンピック委員会会長へ委嘱状を交付〕

5 大手コンビニエンスストアと連携した県内での県産青果物の販売拡大

〔5月～・県内セブンイレブン店舗（秋田市・大仙市他）〕

- ・ 県内における県産青果物の購入機会を拡大するため、セブンイレブンと連携し、県内の20店舗に青果物コーナーを常設してトマト、きゅうり、たまねぎ等を販売している。



〔店舗での告知〕



〔常設の青果物コーナー〕

【今後の予定】

1 秋田米

10月から京急百貨店等で始まる京急あきたフェア2019において、県産米や日本酒、秋田の食材などのPR販売を実施する。

2 青果物等

えだまめのオリジナル品種「あきたほのか」は9月21日から28日まで、しいたけは11月から12月にかけて、イトーヨーカドーなどの首都圏量販店でPR販売を実施する。

3 秋田牛

10月から11月まで、県内の秋田牛取扱店約60店においてメニューフェア・販売促進キャンペーンを実施するほか、そうてつローゼンなどの首都圏量販店において秋田牛5周年記念キャンペーンを実施する。

4 比内地鶏

10月から2月まで、県内の宿泊施設10か所において、県外客へのPRと施設での利用拡大を図るため、メニューフェアを開催する。

5 大手給食企業との連携

本県と連携協定を締結したエムサービス株式会社ほか1社が運営する社員食堂3か所において、県産食材を使ったメニューを提供する（今年度はこれまでに7か所で実施済み）。

6 輸出

沖縄県の輸出商社と連携して、10月から那覇市内の商業施設に県産品の常設棚を設置し、訪日外国人に県産農産物等をPRする。

3 海岸保全施設の個別施設計画（案）について

水産漁港課

県が管理する漁港の海岸保全施設について、適切な維持管理により長寿命化とトータルコストの削減を図りながら機能を維持するための個別施設計画（案）を策定した。

1 公共施設等総合管理計画の概要

公共施設の老朽化により維持管理コストが増大する中、公共施設の総量とサービスの適正化を図りながら、良好な状態で将来の世代に引き継ぐため、平成28年3月、「あきた公共施設等総合管理計画」を策定した。

この総合管理計画のもと、インフラ施設については、予防保全型の維持管理等を行い一定水準の機能を維持するための個別施設計画を順次、策定することとしている。

2 当部で所管するインフラ施設の概要

施設類型	個別施設計画	施設概要	策定予定時期
農 業	農地防災ダム	5 施設	令和 2 年度
	地すべり防止施設	31 区域	
漁 港	漁港	10 港	令和 2 年度
	海岸保全施設	32.1km	令和元年度
治 山	治山ダム 地すべり防止施設	9,679基 78地区	令和 2 年度

3 海岸保全施設の個別施設計画の概要

(1) 施設の概要

海岸保全施設とは、漁港海岸区域における隣接集落の人命・財産の保護と国土の保全を図るための施設であり、県では、以下の8漁港海岸を管理している。

単位：km

漁港海岸名	所在地	延長	漁港海岸名	所在地	延長
岩館	八峰町	4.6	椿（船川港）	男鹿市	4.3
八森	八峰町	5.7	平沢	にかほ市	6.4
北浦	男鹿市	1.6	金浦	にかほ市	2.8
畠	男鹿市	0.7	象潟	にかほ市	6.0
計					32.1

(2) 施設の主な種類

① 護岸・堤防



〔漁村集落の人命・財産等を津波や高潮から保護〕

② 離岸堤



〔 漁村集落の人命・財産等の
保護や海岸浸食の防止・軽減 〕

③ 消波堤



〔海岸浸食を防止・軽減〕

(3) 計画期間

令和2～51年度

(4) 対策の優先順位の考え方

海岸保全施設の機能評価や劣化予測等により行われた健全度評価において、大きな変状の発生や施設の性能低下・機能不足が認められ、要保全と評価された施設を優先的に整備する。

(5) 個別施設の状態等

① 護岸・堤防



〔 コンクリートの劣化による剥離・ひび割れが生じた場合は補修し、津波や高潮 〕
 〔 に対して高さが不足する場合は嵩上げする等の対策が必要 〕

② 離岸堤・消波堤



〔 消波ブロックの沈下や移動、破損による機能の低下が生じた場合は増設や再 〕
 〔 設置等の対策が必要 〕

(6) 対策内容、実施時期

令和2年度以降、緊急性の高い箇所から順に、コンクリート補修工事や既存施設の嵩上げ、消波ブロックの増設等の対策を実施する。

(7) 対策概算費用

単位：千円

漁港海岸名	概算費用	漁港海岸名	概算費用
岩館	629,200	椿(船川港)	1,510,900
八森	949,400	平沢	352,400
北浦	430,500	金浦	405,000
畠	94,400	象潟	477,200
		計	4,849,000

4 天皇陛下御即位記念第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会の開催状況について

水産漁港課全国豊かな海づくり大会推進室

令和元年9月7日から8日、秋田市において、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、「第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会」を開催した。

1 式典行事（9月8日 秋田県立武道館 参加者：771名）

- ・ プロローグとして子どもたちが、暖流と寒流とが交わる秋田の豊かな海と、鳥海山からの伏流水を、歌と踊りでミュージカル風に表現した。
- ・ 全国豊かな海づくり大会としては11年ぶりに、天皇陛下から「おことば」を賜った。
- ・ 水産資源の保護や漁業の発展への願いを込め、両陛下から漁業者に対して、ハタハタの稚魚やエゾアワビの稚貝などをお手渡しいただいた。
- ・ 若手漁業者とベテラン漁業者が、豊かな海を将来に引き継いでいく決意を「海づくりメッセージ」として力強く表明した。



〔おことば〕



〔式典の様子〕

2 海上歓迎・放流行事（9月8日 秋田港飯島地区 参加者：364名）

- ・ 6隻が連なる漁船パレードにより、底引き網漁やさし網漁など本県の代表的な漁法を紹介した。
- ・ 「あけび蔓・クルミ樹皮細工」の容器を用いて、全国豊かな海づくり大会会長（衆議院議長）が、全国からの参加者とともにマダイとトラフグの稚魚を放流した。



〔漁船パレード〕



〔柵目の秋田スギの放流台から稚魚を放流〕

3 歓迎レセプション、絵画・習字優秀作品御覧（9月7日 秋田キャッスルホテル）

- ・ 県産農水産物をふんだんに使用した料理と地酒で、全国からの参加者（201名）をもてなした。
- ・ 豊かな海を守り育てる大切さを啓発するために行った作品コンクール（絵画・習字）の優秀作品（知事賞受賞作品）を展示し、両陛下に御覧いただくとともに、受賞した児童・生徒にお声がけをいただいた。



〔歓迎レセプション〕



〔絵画・習字優秀作品御覧〕

4 関連行事（9月7～8日 道の駅あきた港 来場者：約35,000人）

- ・ 本県水産業の特色やおいしい魚介類、食文化など、本県の魅力を県内外に発信するため、「豊かな海づくりフェスタ in あきた」を開催した。
- ・ フェスタでは、子供から大人まで楽しめるステージイベントやふれあい体験、地魚の直売やバーベキューコーナーの設置などを行った。
- ・ 男鹿市、にかほ市、八峰町及び秋田駅周辺のサテライト会場においても、大会関連イベントを同時開催し、式典行事や海上歓迎・放流行事を映像中継した。



〔ステージイベント〕



〔地魚バーベキューコーナー〕

5 東京オリンピック・パラリンピック関連施設における 県産材の供給状況について

林業木材産業課

秋田スギ等のブランド力の向上に向け、官民一体となって東京オリンピック・パラリンピック関連施設における県産木材利用の働きかけを行ってきた結果、主要施設への木材供給が図られた。

1 東京オリンピック・パラリンピック関連施設における県産材利用

(1) 県内の木材加工企業による納入

ア 新国立競技場（コンセプト：木と緑のスタジアム）

- ・ 屋根や外装に使用する秋田スギの集成材や製材品
- ・ 各国要人の観覧ゾーンに設置する秋田スギの大型建具（障子）

イ 有明体操競技場

- ・ 外装の軒裏のきに使用する秋田スギ製材品

(2) 県からの貸与

ア 選手村の交流施設（ビレッジプラザ）

- ・ 梁や壁、床等に使用する製材品等（9～11月出荷予定）
（大館市も貸与予定）

※ 木材の供給に当たっては、林業・木材産業を学ぶ若い人材に作業体験の場を設定

- ・ 丸太の生産段階：秋田林業大学校生
- ・ 製品塗装や印字作業：秋田北鷹高等学校の生徒や、県立鷹巣技術専門校及び秋田職業能力開発短期大学校の学生



〔林業大学校生による丸太生産体験〕



〔ビレッジプラザ内観イメージ図〕

2 今後の対応

県内企業による民間宿泊施設への内装材の納入など、民間需要の取り込みも見られることから、引き続き、県産材利用の働きかけや関連情報の収集・提供を継続する。

